

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業

審査講評

令和3年3月31日

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業者選定審議会

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業者選定審議会（以下「審議会」という。）は、名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業（以下「本事業」という。）の事業者選定に関する事項を調査審議するため、名古屋市（以下「市」という。）により設置されました。

令和元年 8 月 22 日開催の第 1 回審議会以降、約 1 年半にわたり民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号、以下「P F I 法」という。）に基づき実施方針及び入札説明書等について審議を重ねるとともに、応募者の事業提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、この度、審議会として最優秀提案者を選定しました。

本審査講評は、審議会におけるこれまでの審議・審査の過程と審査の結果について答申するものです。

最後に、応募者の事業提案書作成にあたっての熱意や努力に、心より感謝申し上げるとともに、本事業が P F I 事業として事業期間にわたり安定的かつ円滑に継続されることを心から期待します。

令和 3 年 3 月 31 日

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業者選定審議会

会 長	伊藤 孝紀
委 員	小林 和正
委 員	中村 晋一郎
委 員	中山 徳良
委 員	二村 友佳子
委 員	來田 享子

目 次

1 最優秀提案者選定の概要.....	1
2 審査の経緯.....	3
3 審査の結果.....	5
4 審査講評.....	18
5 総評.....	20

1 最優秀提案者選定の概要

(1) 最優秀提案者選定の方法

事業者の募集及び選定の方法は、競争性の担保及び透明性・公平性の確保に配慮した上で、総合評価一般競争入札とした。

事業者の選定にあたっては、入札価格、設計・建設、維持管理運営に関する技術及び事業遂行能力等を総合的に評価し最優秀提案者を決定した。

なお、本事業は平成 6 年 4 月 15 日にマラケシュで作成された政府調達に関する協定（WTO 政府調達協定）の対象事業であり、入札手続きには、「地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令」（平成 7 年政令 372 号）が適用された。

(2) 審査の進め方

審査は、第一次審査として入札参加資格の有無を判断する「資格審査」、第二次審査として提案内容を評価する「提案審査」の二段階にて実施した。「提案審査」は、入札価格や要求水準書に示す内容を満足しているか否かを確認する「基礎審査」と、提案内容の水準を様々な視点から総合的に評価する「総合評価」を行った。（図 1 参照）

(3) 審査体制

事業提案書の審査は、市が設置した審議会において行った。審議会の委員は、以下のとおりである。（敬称略、50 音順）

会 長	伊藤 孝紀	（名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授）
委 員	小林 和正	（テミス綜合法律事務所 弁護士）
委 員	中村 晋一郎	（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）
委 員	中山 徳良	（名古屋市立大学大学院経済学研究科 教授）
委 員	二村 友佳子	（公認会計士、税理士）
委 員	來田 享子	（中京大学大学院体育学研究科 教授）

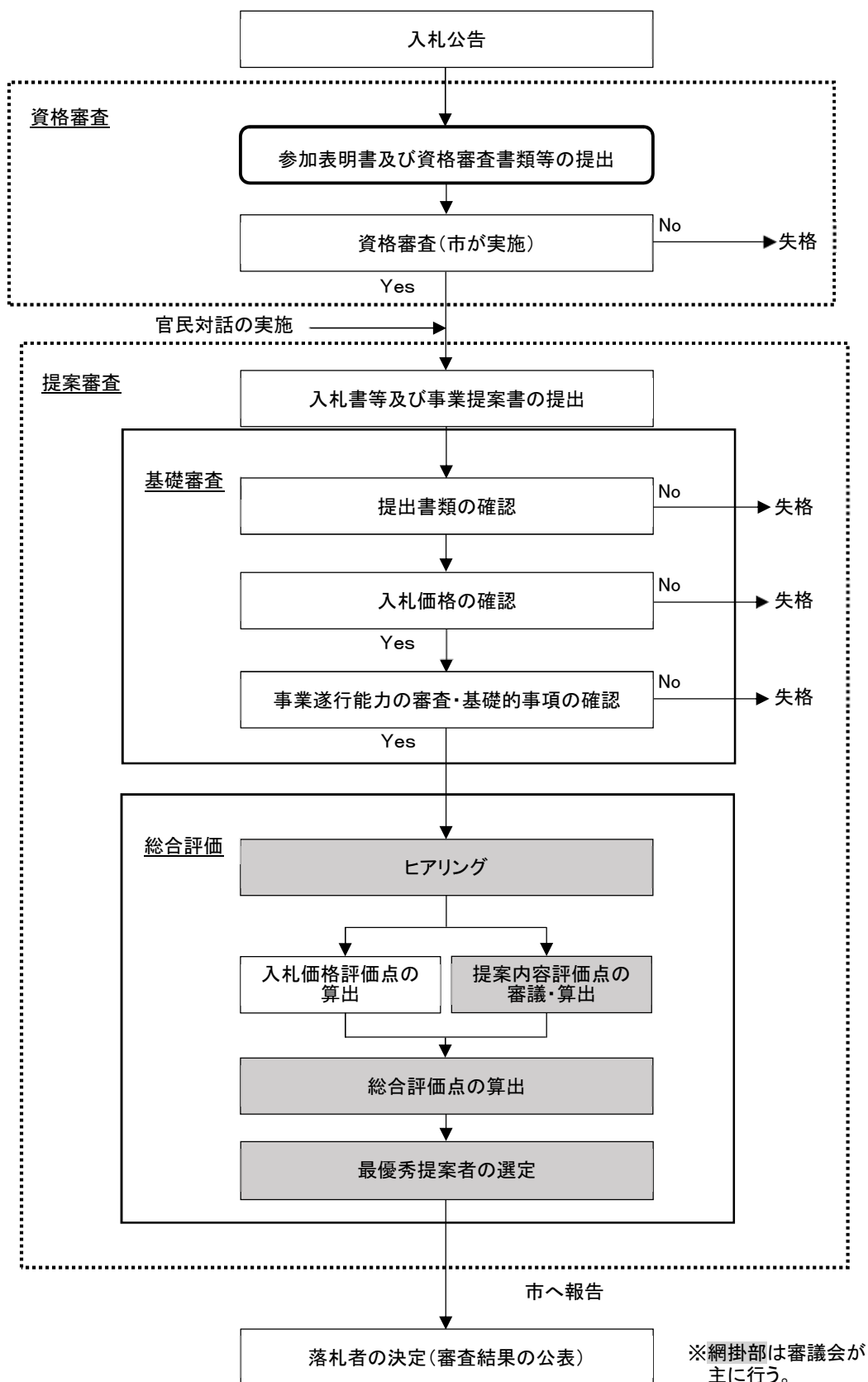


図1 落札者決定までの流れ

2 審査の経緯

審議会の審査経緯及び入札手続きは以下の通りである。

日 程	主な議題
令和元年 8 月 22 日	第 1 回審議会 (事業概要の確認、事業者ヒアリングの実施について)
令和元年 11 月 8 日	第 2 回審議会 (実施方針等の確認)
令和 2 年 3 月 31 日	実施方針等の公表
令和 2 年 4 月 1 日 ～4 月 20 日	実施方針等に関する質問の受付
令和 2 年 4 月 10 日	第 3 回審議会 (審査基準等の審議)
令和 2 年 6 月 3 日	第 4 回審議会 (特定事業の選定の確認、入札説明書等の確認)
令和 2 年 6 月 3 日	実施方針等に関する質問回答の公表
令和 2 年 6 月 26 日	特定事業の選定の公表
令和 2 年 7 月 15 日	実施方針の変更の公表
令和 2 年 7 月 22 日	入札公告、入札説明書等の公表
令和 2 年 7 月 22 日 ～8 月 7 日	入札説明書等に関する質問受付
令和 2 年 7 月 31 日	現地見学会
令和 2 年 8 月 24 日	現地見学会の質問回答の公表
令和 2 年 8 月 28 日	入札説明書等に関する質問回答の公表
令和 2 年 9 月 3 日 ～9 月 7 日	参加表明の受付 (資格審査書類の受付)
令和 2 年 9 月 14 日	資格審査結果の通知
令和 2 年 9 月 25 日	入札説明書等の変更の公表
令和 2 年 10 月 9 日 ～10 月 23 日	入札説明書等に関する質問受付 (2 回目)
令和 2 年 10 月 14 日 ～10 月 15 日	官民対話の実施
令和 2 年 11 月 6 日	事業契約書 (案) の変更の公表
令和 2 年 11 月 17 日	官民対話の結果の公表
令和 2 年 11 月 20 日	入札説明書等に関する質問回答の公表 (2 回目)
令和 2 年 11 月 26 日	要求水準書等の変更の公表
令和 3 年 1 月 6 日	入札書及び事業提案書の受付、開札
令和 3 年 2 月 6 日	第 5 回審議会

	(審査方法の確認)
令和3年2月20日	第6回審議会 (提案内容の確認、応募者ヒアリング)
令和3年2月27日	第7回審議会 (審査、最優秀提案者の選定)
令和3年3月1日	落札者の決定
令和3年3月5日	落札者の公表
令和3年3月20日	第8回審議会 (審査講評の確認)

3 審査の結果

(1) 資格審査

下記の4グループから参加表明書等の提出があり、市は、いずれのグループとも入札公告に記載の入札参加資格要件を満たしていることを確認した。なお、審査においては、参加表明書等の受付順に提案者番号を付した。

資格審査通過者（受付順）

グループ名	構成員及び協力会社
竹中工務店グループ 【Rグループ】	株式会社竹中工務店名古屋支店（代表企業） 美津濃株式会社 日本管財株式会社 株式会社新東通信 株式会社日本設計中部支社 株式会社プレック研究所中部事務所 ミズノスポーツサービス株式会社 名鉄協商株式会社
三菱UFJリースグループ 【Bグループ】	三菱UFJリース株式会社（代表企業） 大成建設株式会社名古屋支店 サンエイ株式会社 コナミスポーツ株式会社 株式会社梓設計中部支社 玉野総合コンサルタント株式会社 株式会社フジヤマ名古屋支店 長谷川体育施設株式会社中部支店 株式会社トヨタエンタプライズ アシックススポーツファシリティーズ株式会社 株式会社西三河エリアワン 東亜道路工業株式会社中京支店 中部土木株式会社 株式会社オリエンタルコンサルタンツ中部支社 大成ロテック株式会社名古屋営業所 株式会社錦建築設計 株式会社電通名鉄コミュニケーションズ タイムズ24株式会社
鹿島建設グループ 【Yグループ】	鹿島建設株式会社中部支店（代表企業） 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会 株式会社コングレ中部支社 三菱電機ビルテクノサービス株式会社中部支社

	名鉄ビルディング管理株式会社 ヤハギ緑化株式会社 株式会社久米設計名古屋支社 株式会社オオバ名古屋支店 株式会社ランドスケープデザイン 矢作地所株式会社
大林組グループ 【Gグループ】	株式会社大林組名古屋支店（代表企業） 株式会社東急コミュニティー 株式会社フクシ・エンタープライズ 株式会社JPN 株式会社都市研究所スペース 株式会社東畑建築事務所名古屋オフィス 株式会社E-DESIGN 徳倉建設株式会社 株式会社電通中部支社

(2) 提案審査

資格審査を通過した4グループから入札提出書類の提出があり、以下のとおり基礎審査及び総合評価を行った。

ア 基礎審査

市は、入札書及び事業提案書を提出した応募者（以下「入札参加者」という。）の提案内容のうち、落札者決定基準に定める基礎審査項目（入札価格の確認、基礎的事項の確認、事業遂行に関する確認）に対して疑義が生じた点について、確認を行った。

イ 総合評価

(ア) ヒアリング

入札参加者全員に対して、審議会は、提案内容についてのヒアリングを次のとおり実施した。

実施日 令和3年2月20日（土）

会 場 瑞穂区役所 講堂

(イ) 提案内容の評価

入札参加者へのヒアリングを踏まえた上で、落札者決定基準に定める評価項目及び評価内容に従って、審議会の各委員が提案内容を評価項目ごとに採点した。各委員が評価項目ごとにA～Dの4段階の採点基準で評価したものの

平均点を評価点として算出した（800 点満点）。

評価項目ごとの採点基準

評 価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	やや優れている	配点×0.50
D	要求水準を満たしている	配点×0.25

提案内容の評価項目における評価の視点と配点

事業実施に関する評価（配点：170 点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
事業 実施	1	事業実施の基本方針	○ 本事業の目的及び方針を十分に理解し、事業を適切に実施する方針となっているか。 ○ 本事業の特性等を把握し、事業者独自の視点が明確であるか。 ○ 立地条件等に十分配慮した事業計画となっているか。 ○ 民間の経営能力及び技術能力を活用した効率的な施設の設置、維持管理運営が期待でき、事業の効率化を図ったものとなっているか。	30
	2	事業実施体制及び役割分担	○ 事業期間を通じ、非常時を含め、本事業を円滑に実施する事業実施体制を構築できているか。 ○ 全体スケジュールを通じて、事業を統括する企業・責任者が明確で、事業実施体制が適切であるか。 ○ 代表企業、構成員、協力会社等の役割分担は適切かつ明確になっているか。 ○ 本事業の統括にあたり、適切な人員・バックアップ体制を確保しているか。 ○ 業務品質の確保に係る効果的な取組みが提案されているか。	20
	3	事業の安定性及び事業継続性の確保（収支計画、資金調達計画、初期投資）	○ 施設整備提案に応じた投資明細が提出されているか。 ○ 各費用（設計費、工事監理費、解体・撤去費、維持管理運営費及び統括管理費）が適切に計上され、安定的な収支計画となっているか。 ○ 構成員、協力会社等への支払いも含め資金調達、資金繰り等が確実なものとなっているか。 ○ 事業資金の不足（予期せぬ費用負担等）への対応等が検討され、安定的な収支計画となっているか。 ○ 金融機関等からの資金調達は安心で確実であるか。 ○ 事業破綻リスクの抑制の考え方、顕在時の対応策は適切であるか。	40

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
	4	リスクへの適切な対応	○ 想定されるリスクの分析が的確になされ、リスクの低減・防止策及びリスクへの具体的かつ効果的な対応策（保険付保を含む。）が備えられているか。 ○ 個人情報を含めた情報の保護及び管理体制、保管方法は具体的かつ適切なものであるか。	20
	5	モニタリングの協力・セルフモニタリング	○ 市が行うモニタリングに対して、効率化に寄与する取り組みが具体的に提案されているか。 ○ サービスの質の維持・向上を図るための有効なセルフモニタリングの方法が具体的に提案されているか。	20
	6	周辺環境・地域社会への配慮、地域特性に応じた計画	○ 本事業が周辺環境や地域社会へ与える影響を考慮した提案がなされているか。 ○ 地域特性を的確に把握し、かつ名古屋らしさを発信できるような提案がなされているか。 ○ 地域住民と協力しながら、地域住民が親しみやすく、地域連携の創生の場とするための具体的配慮がなされているか。 ○ 本事業を通じた施設周辺や地域社会への貢献について、優れた提案がなされているか。 ○ パークマネジメント活動業務を実施するための具体的な提案がなされているか。	40

本施設の施設整備に関する評価（配点：350点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
本施設の施設整備	7	施設整備の基本方針（設計趣旨、実施体制、施工計画、運営との一体性）	○ マスタープランに基づき、公園全体及び周辺環境への適合と調和を図った具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 本事業の目的及び方針を十分に理解した基本方針となっているか。 ○ 本事業の目的及び方針の実現のため、十分な体制が構築されているか。 ○ 設計業務、建設業務、解体・撤去業務及び工事監理業務の実施体制、品質の確保について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 本施設の運営を考慮した施設整備計画となっているか。 ○ 近隣や既存施設に配慮しつつ、スケジュールを実現させるための計画が具体的に提案されているか。 ○ 宿泊研修棟のリノベーション等、市民意見等をどのように集約し、どのように計画に反映するか提案がなされているか。	30
	8	施設整備の全体計画（全体配置、動線、緑化保全、景観、周辺環境との調和と連携、利活用性等）	○ 施設利用者、公園利用者、大会、イベント等主催者、施設管理者の視点から、各施設が安全性・利便性に配慮した合理的な配置計画、動線計画となっているか。 ○ 整備施設が互いに連携した効果的な配置計画・動線計画となることで、様々な年代・ニーズの利	100

		用者で公園一体がにぎわうような計画となっているか。 ○ 既存施設との連携について効果的・具体的な提案がなされているか。 ○ 防音、防振、ごみ、渋滞等への配慮が計画に具体的に反映されているか。 ○ 事業期間終了後も長期間継続して使用することを見据えた整備計画となっているか。 ○ 周辺植生及び生態系保全に配慮した緑化計画となっているか。 ○ 既存緑地との調和を図るとともに、景観や近隣住宅、利用者にも配慮した優れた提案がなされているか。 ○ 主要駅等から本施設を目指す利用者について、最大利用者数や障害者等にも配慮して、安全かつ円滑にアプローチできる具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 陸上競技場等及び公園全体で統一性があり、建築や公園と調和し、視認性に優れたデザイン、設置位置及び表現内容としたサイン計画が具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 様々な年代の利用者が日常的に気軽に利用でき、また、緑豊かでゆとりのある美しい景観となるよう、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 各種イベント時や平常時に応じて、様々な利用方法を可能とする等、フレキシブルな運用計画を実現できるような施設整備の提案がなされているか。 ○ 各施設について、本来の利用方法に加えて、別の利用方法を可能とするような施設整備の提案がなされているか。	
9	施設整備の安全性、防犯性、防災計画	○ 本施設の利用者の安全確認や防犯上の配慮が十分になされた提案がなされているか。 ○ 指定緊急避難場所（広域避難場所）として、防災機能を向上させる具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 事故・災害及び防犯・警備面に配慮した計画及び発生時の対応について具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 高齢者、障害者、子育て等に関する団体へのヒアリング及び意見交換をどのように行いどのように施設計画に反映するか。 ○ 災害時に全ての利用者が円滑に避難できるように、また緊急車両及び救助活動に支障がないように、具体的かつ優れた提案がなされているか。	20
10	施設整備のユニバーサルデザイン、快適性	○ バリアフリー・ユニバーサルデザインに関し、世界大会であるアジア競技大会を開催するのにふさわしい具体的かつ優れた提案がなされているか。	20

		○ 市民とともに、居心地のよい安全な空間づくりに取り組むための具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 公園利用者にとって心地よいサードプレイスとするための具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが安全・安心で快適に利用できる具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ VIP、VVIP が安全・安心で快適に利用できる具体的かつ優れた提案がなされているか。	
11	施設整備の施工管理、安全対策、既存施設・既存施設利用者への配慮	○ 各工事段階における既存施設利用者、近隣住民、周辺環境への配慮や安全確保を踏まえた計画について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 品質の確保について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 仮設計画について、具体的かつ優れた提案がなされているか。	20
12	施設整備の省エネ等、環境性や維持管理性、経済性への配慮	○ 設備計画において、効率性やランニングコスト低減のための工夫及び効果について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 整備施設の耐久性やメンテナンスの容易性に配慮した具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 環境への負荷軽減（パッシブデザイン等）やリサイクルを考慮した具体的な提案がなされているか。	20
13	陸上競技場の建築計画（意匠性）	○ 瑞穂公園を象徴するデザインとするとともに公園全体及び周辺環境と調和したデザインとなるよう具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 競技者と観客の一体感を創出する具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 地域のシンボル、ランドマークとなる外観となっているか。 ○ 名古屋の魅力向上に資する外観デザインとなっているか。 ○ 競技エリアの天然芝を育成するために、適した日照と通風を考慮した計画となっているか。 ○ 自然素材や地場の資材及び技術の採用を積極的に検討した計画となっているか。 ○ 緑と水のうまい自然、史跡・古墳等歴史資源に恵まれた環境と調和した提案がなされているか。 ○ 本敷地における過去に生じた最大の水位及び将来生じる可能性のある最高水位に対して浸水を防ぐ具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ トップアスリートと市民が共に使用する陸上競技場として、トップアスリートがここで刻む歴史的価値をどのように取り込み、また市民がどのようにその歴史を感じることができるのかを意識した提案がなされているか。	30

	14	陸上競技場の競技施設機能(競技者の機能性等)	○ 競技者にとって機能的であり、安全かつ快適な計画となっているか。 ○ 競技者のウォーミングアップのための各種施設・設備が充実しており、それが利用しやすいものとなっているか。 ○ 競技を楽しもうとする全ての人が幅広く利用できる工夫がなされているか。	20
	15	陸上競技場の観覧施設機能(観客の快適性等)	○ 観客が、競技の魅力を存分に体感しつつ、快適に観戦できる計画となっているか。 ○ 大会・イベント時において、観客がストレスなく利用できる工夫がなされているか。 ○ 日差しや雨天時・強風時に対する具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 競技を楽しもうとする全ての人が幅広く利用できる工夫がなされているか。 ○ 人にやさしい、快適で多様な観戦スタイルを可能とする具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 別途設置する仮設席についても、躍動感、臨場感、一体感を創出するための具体的かつ優れた提案がなされているか。	20
	16	陸上競技場各諸室のゾーニング、詳細計画	○ 観客、選手、VIP、メディア、施設職員、物品搬入等の特性に配慮した、動線計画、ゾーニング、平面計画及び断面計画について、優れた提案がなされているか。 ○ 競技団体等、利用者の意向を把握し、利用しやすい諸室のあり方・配置となっているか。 ○ 全ての競技者及び関係者等が安全で快適に競技可能かつ安全でスムーズな大会・イベント運営が可能な動線及び諸室の配置、状況に応じた諸室機能の転換を考慮した具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 各諸室の機能、諸室相互の関連及び利用者の動線を考慮した具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 各競技団体、利用者へのヒアリング及び意見交換をどのように行い、どのように計画に反映するか、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 競技者、大会運営者、VIP、WIP、観客、メディア及び施設管理者等の動線分離と機能性に配慮した具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 必要な情報が、適切なタイミングで、正確に伝達できる具体的かつ優れた提案がなされているか。また、デジタルサイネージ等新しい技術を取り入れた提案がなされているか。	20
	17	陸上競技場の設備・構造・仕上げ・什器整備計画	○ 利用内容や形状等の特性に配慮した優れた提案がなされているか。 ○ 自然エネルギーを利用した環境設備を積極的に導入した優れた提案がなされているか。	20

			○ 情報通信設備や情報表示設備、防災設備、機械警備設備等が、維持管理・保守・運営が円滑に行える計画となっているか。 ○ 建物の構造、躯体、材質・材料等の安全性、耐久性、信頼性、耐震性、防汚性や維持管理等における作業性、更新性、修繕の容易性において具体的かつ優れた提案がされているか。 ○ 各施設の利用シーンについて分析がなされた上で、適切な什器・備品が、必要十分に提案されているか。	
	18	公園整備施設のゾーニング、詳細計画	○ 公園全体の魅力向上・にぎわいの創出のため、ソフト・ハードの両面から独創的かつ優れた提案・コンセプトがあるか。 ○ 限られた敷地を有効活用し、オープンスペースの確保や景観、周辺環境へ配慮するとともに、安全性、利便性、効率性の高い具体的かつ優れた提案がされているか。 ○ 公園内の各地に配置された緑をネットワーク化し、都市の中のまとまりある緑として「緑の拠点」を保全することが提案されているか。 ○ 様々な年代の利用者が気軽に集い、地域の身近な子どもの遊び場となる具体的な提案がされているか。	20
	19	遺跡の保存・活用計画	○ 公園内に所在する遺跡を適切に保存するとともに、それらの特徴や魅力を顕在化させる具体的な提案がなされているか。 ○ 日常的な公園利用の中でも史跡・遺跡を知ることができるようにし、より多くの公園利用者が名古屋の歴史のはじまりに触れ、身近に感じてもらえるきっかけとなる空間とする具体的な提案がなされているか。	10

既存競技場の解体・撤去に関する評価（配点：20点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
既存競技場の解体・撤去	20	既存競技場の解体・撤去計画	○ 事業区域内の既存施設の稼働に支障のない解体・撤去計画が提案されているか。 ○ 事業区域外の近隣に配慮した解体・撤去計画が提案されているか。 ○ 埋蔵文化財への配慮について、具体的な計画が提案されているか。	20

工程に関する評価（配点：20点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
工程	21	全体工程(陸上競技場の工程等)設計施工スケジュール	○ 施設整備の進捗上、重要となるポイントが識別された上で、確実に竣工が可能なスケジュールとなっているか。 ○ 近隣や既存施設に配慮しつつ、スケジュールを実現させるための具体的かつ優れた施工計画が提案されているか。	20

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
			○ 可能な限り早期にアジア大会の競技運営準備が可能となるような取組みが検討されているか。	

本施設の維持管理運営に関する評価（配点：170点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
本施設の維持管理	22	維持管理の基本方針・実施体制	○ 維持管理・保全の実施に関する基本的な考え方、実施体制等について、本事業の目的及び方針を踏まえた具体的な提案がなされているか。 ○ 維持管理における利用者への配慮に係る提案がなされているか。	20
	23	整備施設の維持管理計画	○ 整備施設の維持管理計画は、事業効果や利用者の利便性を高めることが期待できる具体的かつ効果的な提案となっているか。 ○ 円滑な引き継ぎに備えた具体的な準備・対応になっているか。	20
	24	整備施設のライフサイクルコスト削減の取り組み	○ 修繕業務に関し、LCC 削減の観点を取り入れ、予防保全等の的確な実施策（適切な修繕計画策定）が提案されているか。 ○ 事業期間中に要求水準、提案されたサービス水準を保持するための妥当性のある修繕計画が策定されているか。 ○ 事業終了時の施設・設備の性能水準の保持を視野に入れた、具体的かつ効果的な提案がなされているか。	20
	25	既存施設の維持管理計画	○ 現行の維持管理業務水準以上の内容となっているか。 ○ 限られた予算を有効活用する提案になっているか。 ○ 円滑な引き継ぎに備えた具体的な準備・対応になっているか。 ○ 施設の状態を正しく理解し、対応方針が明確化された計画となっているか。	10
本施設の運営	26	運営の基本方針・実施体制（整備との一体性）	○ 整備施設及び既存施設の特性を適切に理解した上で、運営に係る基本方針を明確に提案できているか。 ○ 基本方針に沿った管理を安定して行うための物的及び人的方針を具体的に提案できているか。 ○ 瑞穂運動場と瑞穂公園を一体的に整備・運営する方針を具体的に提案できているか。（駐車場管理（普通車・大型車）含む） ○ 基本方針を踏まえた当該施設分野等の目標及び実施策について具体的に提案できているか。 ○ 公の施設の性格を理解し、誰もが平等・公平に利用できる基本方針が提案できているか。 ○ 利用時間等について、利用者の利便性に配慮した提案がなされているか。 ○ スポーツに関心の低い市民にも関心を持ってもらうような工夫をしているか。	30

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
			○ 障害者スポーツについて、参加者が気軽に体験でき、交流するきっかけとなる提案がなされているか。 ○ 子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しく参加できる交流・地域イベントの誘致及び協力について、具体的に提案されているか。	
	27	整備施設の運営計画	○ 運営と整備とが一体となった提案がなされているか。 ○ 国際的な競技大会等の誘致及び開催を安定的かつ円滑に行う計画を具体的に提案できているか。 ○ 国際的な競技大会等を開催するために必要とされる瑞穂運動場の施設の水準を維持するための計画を具体的に提案できているか。 ○ 集客・にぎわいづくりについて、具体的な提案がなされているか。 ○ 整備施設で行われる催事、施設の周知、公園との一体的なブランドイメージの発信について、具体的な提案がなされているか。	30
	28	既存施設の運営計画	○ 施設の設置目的を効果的に達成する提案であるか。 ○ 管理経費の縮減が図られる提案であるか。 ○ スポーツ及びレクリエーション活動を行う団体との連携協力が円滑に得られる体制を整えているか。 ○ 利用者の利便性向上のための新たな取組みを実践・実行できる体制が提案できているか。 ○ 実現可能な広報・利用促進策が提案できているか。 ○ 市の施策として実施するスポーツ教室事業等について、具体的に提案されているか。 ○ 地域におけるスポーツ振興事業等について、具体的かつ実現可能な取組みが提案できているか。 ○ 平日の昼間等、利用者の少ない時期の平準化の工夫により、年間を通じて集客を図る提案がなされているか。	30
	29	災害時における運営計画	○ 緊急時における利用者、観客の誘導や危機管理体制等について、具体的な提案がなされているか。 ○ 緊急時における対応について、マニュアル化、訓練方法について、具体的な提案がなされているか。	10

自主事業等に関する評価（配点：40点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
自主事業等	30	自主事業の提案、提案施設設置等	○ 事業実施及び収支計画について、具体性、実現性、独創性のある提案がなされているか。 ○ 自主提案事業は、公園施設の一層の利用促進につながる提案がなされているか。	20

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
			○ 本事業実施にあたり、魅力ある自主事業施設や付帯施設が提案されているか。 ○ 周辺施設とのデザインとの調和について工夫されているか。 ○ 地域活性化や集客の促進につながる事業が提案されているか。 ○ 多種多様なプログラムが用意され、魅力的な教室等の提案がなされているか。 ○ 広告誘致に関して、具体的な提案がなされているか。	
	31	施設用地の将来構想案	○ アジア競技大会後、市により別途整備する予定である施設用地の将来利用について、管理運営を想定し、渋滞及び路上駐車対策を取り込んだ提案がなされているか。 ○ 事業区域周辺の渋滞抑制のため、公園全体の駐車場計画について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 ○ 運動場等の機能整備（自主事業を含んでもよい）が提案されているか。	20

提案全般に関する評価 （配点：30点）

大項目	No.	中項目	評価の視点	配点
提案全般	32	提案全体の魅力、独自性	○ 個別評価項目では評価できない提案全体の魅力があるか。 ○ 事業者独自の方針に基づき、一貫性のある提案内容となっているか。	30

提案内容の評価結果

大項目	No.	中項目	配点	竹中 工務店 グループ	三菱UF J リース グループ	鹿島建設 グループ	大林組 グループ
事業実施	1	事業実施の基本方針	30	28.75	22.50	18.75	18.75
	2	事業実施体制及び役割分担	20	18.33	15.00	15.83	13.33
	3	事業の安定性及び事業継続性の確保	40	36.67	31.67	33.33	33.33
	4	リスクへの適切な対応	20	17.50	14.17	14.17	16.67
	5	モニタリングの協力・セルフモニタリング	20	17.50	15.83	15.00	14.17
	6	周辺環境・地域社会への配慮、地域特性に応じた計画	40	36.67	31.67	30.00	28.33
本施設の 施設整備	7	施設整備の基本方針	30	26.25	23.75	20.00	22.50
	8	施設整備の全体計画	100	91.67	79.17	66.67	79.17
	9	施設整備の安全性、防犯性、防災計画	20	19.17	15.00	15.83	15.00
	10	施設整備のユニバーサルデザイン、快適性	20	17.50	15.83	16.67	15.83
	11	施設整備の施工管理、安全対策、既存施設・既存施設利用者への配慮	20	17.50	15.83	16.67	16.67
	12	施設整備の省エネ等、環境性や維持管理性、経済性への配慮	20	17.50	15.00	14.17	15.83
	13	陸上競技場の建築計画	30	28.75	20.00	16.25	20.00
	14	陸上競技場の競技施設機能	20	16.67	15.00	13.33	14.17
	15	陸上競技場の観覧施設機能	20	18.33	15.83	12.50	15.00
	16	陸上競技場各諸室のゾーニング、詳細計画	20	17.50	15.83	14.17	15.00
	17	陸上競技場の設備・構造・仕上げ・什器整備計画	20	17.50	13.33	15.00	14.17
	18	公園整備施設のゾーニング、詳細計画	20	17.50	16.67	15.00	14.17
	19	遺跡の保存・活用計画	10	8.75	7.50	6.25	6.67
既存競技場の解体・撤去	20	既存競技場の解体・撤去計画	20	15.83	15.83	13.33	15.83
工程	21	全体工程、設計施工スケジュール	20	18.33	14.17	13.33	17.50
本施設の 維持管理 運営	22	維持管理の基本方針・実施体制	20	17.50	15.83	15.00	15.00
	23	整備施設の維持管理計画	20	18.33	15.83	15.00	14.17
	24	整備施設のライフサイクルコスト削減	20	17.50	15.00	14.17	15.00
	25	既存施設の維持管理計画	10	8.75	7.50	8.75	7.92
	26	運営の基本方針・実施体制	30	27.50	22.50	23.75	21.25
	27	整備施設の運営計画	30	27.50	23.75	25.00	25.00
	28	既存施設の運営計画	30	23.75	22.50	22.50	21.25
	29	災害時における運営計画	10	8.75	7.50	7.92	7.92
自主事業等	30	自主事業の提案、提案施設設置等	20	16.67	15.00	13.33	14.17
	31	施設用地の将来構想案	20	15.83	13.33	14.17	15.00
提案全般	32	提案全体の魅力、独自性	30	27.50	23.75	17.50	21.25
合計			800	713.75	612.07	573.34	600.02

(ウ) 価格点の算出

落札者決定基準に定める計算式に従い、各入札参加者の入札価格を 200 点満点で得点化した。評価の結果は次のとおりである。

$$\text{価格点} = \frac{\text{提案のうち最も低い提案価格}}{\text{当該入札参加者の提案価格}} \times 200 \text{ 点}$$

※提案価格：入札価格の 100 分の 110 に相当する金額

価格点

区分	竹中工務店 グループ	三菱UFJリース グループ	鹿島建設 グループ	大林組 グループ
入札価格	49,655,568,196 円	49,960,749,723 円	49,990,042,482 円	49,041,116,462 円
価格点	197.53	196.32	196.20	200.00

※入札価格及び予定価格は、消費税及び地方消費税相当額を除く。

予定価格 50,035,454,546 円

(エ) 最優秀提案者の選定

性能等の評価に関する点数（800 点満点）と提案価格の評価による点数（200 点満点）を合計して総合評価点（1,000 点満点）を算出し、総合評価点が最も高い提案を行った竹中工務店グループを最優秀提案者として選定した。

総合評価点

区分	竹中工務店 グループ	三菱UFJリース グループ	鹿島建設 グループ	大林組 グループ
提案内容の評価点 (800 点満点)	713.75	612.07	573.34	600.02
価格点 (200 点満点)	197.53	196.32	196.20	200.00
総合評価点 (1000 点満点)	911.28	808.39	769.54	800.02

4 審査講評

(1) 事業実施及び提案全般に関する評価

- 竹中工務店グループの提案は、川と道路と既存施設が瑞穂公園を分断している課題を「8の字ループ（陸上競技場3階コンコースとレクリエーション広場をつなぐ構造物）」により解消するもので、「空」と「森」と「大地」を表現した陸上競技場のデザインを含め、整備コンセプトが明確で分かりやすいことが、高く評価された。また、「瑞穂LOOP（ループ）」というコンセプトがハード面だけでなく、ソフト面にも展開されており、シンボリックな要素がうまく取り込んでいることも高く評価された。
- 三菱UFJリースグループの提案は、陸上競技場だけでなく、園内の動線やランドスケープ、植生等に至るまで、きめ細やかで具体性があることが、評価を受けた。また、先進的な取り組みへのチャレンジが、スポーツの課題を解消する可能性があると、期待感を持つ意見もあった。一方で、景観への配慮と瑞穂公園の分断という課題が解消されていないという評価があった。
- 鹿島建設グループの提案は、既存施設を有効活用する姿勢や、地域と密着する姿勢、手堅い内容が評価された。一方で、新しいチャレンジが不足している、革新性が弱いという評価があった。
- 大林組グループの提案は、交通渋滞に対する提案や、建築の構造的な側面から工期や工法にまで踏み込んだ提案や立体的にランニングコースを設置する提案等、既成概念に捕らわれないアイデアが評価された。一方で、ランニングコースの運営や素材など、アイデアを活かす工夫の面が不足しているという評価があった。

(2) 施設整備に関する評価

- 竹中工務店グループの提案は、民間収益施設や遺跡広場の配置の工夫による、陸上競技場へ向かう仕掛けづくりや、にぎわいづくりが評価された。また、住宅地内にある公園の中に立地する陸上競技場の圧迫感を軽減させる印象や意匠性も、メッセージが明確であるとして評価された。機能的には、現時点で指摘されているアスリートファーストの視点を取り入れているとして評価された。「8の字ループ」は、陸上競技場のデッキ面で周辺施設と新たなつながりをつくる構想であり、施設間の分断を積極的に解消するアイデアとして評価された。工期についても、建設期間の前後にそれぞれ工程調整期間を確保している点が評価された。
- 三菱UFJリースグループの提案は、多様なライフスタイルに対応した観客席の工夫と、公園利用者にも開かれた計画が、魅力的であるとして評価された。機能的には、アスリートにも観客にも使いやすいことや、競技間の交流を促す力があるということが評価された。また、陸上競技場の取壊しにまで細かな点に配慮した具体的な計画であることや、遺跡の活用にスポーツの要素を取り入れていることが評価された。一方で、周辺環境への影響や大型設備のメンテナンス性を心配する評価、また、周辺施設とのつながりについては、既存施設の利用にとどまっているという評価があった。
- 鹿島建設グループの提案は、瑞穂の風土に着目し、構造体に積極的に採用したこと

や、陸上競技場に圧迫感が少なく、スポーツシーンに近い観客席となっていることが評価された。また、遺跡の活用にあスレチックの要素を取り入れていることが評価された。一方で、にぎわいづくりや新たな公園利活用に向けた提案が弱いという評価があった。

- 大林組グループの提案は、民間収益施設等の配置、陸上競技場の３層構造、照明効果を見込んだ屋根、工期、コスト削減等で工夫がみられることが評価された。機能的には、観客席の配置や動線等の完成度が高いとの評価があった。また、植生も、樹種と季節が丁寧に考えられていることが評価された。一方で、公園内の回遊性や、施設運営まで見通した具体性が弱いという評価があった。

(3) 維持管理運営に関する評価

- 竹中工務店グループの提案は、市民参加の仕組みが、近年のパークマネジメントのトレンドを取り込みつつ、その運営にあたっての主体づくりを企図していることが評価された。また、維持管理運営の体制や堅実な修繕計画、充実した自主事業についても評価された。
- 三菱UFJリースグループの提案は、具体性・実現性の高さや市民主体の公園づくりが評価された。また、多様な人々を巻き込み、スポーツの持続可能性を高めることが意識されていることについても評価された。
- 鹿島建設グループの提案は、学校や周辺施設等との連携や、多様性のある教室事業が評価された。また、これまでに蓄積されてきた内外のノウハウを取り入れ、安定性の高い運営が目指されていることも評価された。
- 大林組グループの提案は、民間収益施設に関する運営姿勢や市民参加の公園づくりをするための体制が評価された。また、イベント等の運営に配慮した修繕計画も評価された。

5 総評

各グループの提案書類は、いずれも本事業の趣旨・目的を深く理解し、高い意気込みを感じさせる素晴らしい提案であった。また、提案書類の作成にあたっての努力は、高く評価するとともに、深く感謝申し上げるところである。

審議会は、落札者決定基準に基づき、厳正かつ公正に審査及び評価を行い、竹中工務店グループを最優秀提案者として選定した。今後、最優秀提案者として選定された竹中工務店グループが、市と事業契約を締結し、審議会から評価された具体的な提案内容を確実に実施するにあたり、ヒアリング等で得られた意見を集約して、多様な利用者や来場者、周辺地域を考慮した、よりよい施設計画とし、その有効性についても、確認しながら進めるとともに、市が実施するモニタリングに積極的に協力し、事業のサービス水準を高めるよう努めることを望む。

そして、本事業をさらによりものとするため、特に次の点について配慮することを要望する。

- 第 20 回アジア競技大会のメイン競技会場として利用されることに鑑み、これを契機に、名古屋の魅力を世界にアピールできるよう取り組むこと。
- 8 の字ループの新設位置及び規模等について、レクリエーション広場、北陸上競技場及び市道萩山町第 14 号線の機能及び利用形態に支障とならないよう現状の利用状況を把握するとともに、既存構造物の補強の可否や補強方法の検討等を行い、市と協議、合意の上で計画を進めること。
- 木調外装については、提案されたとおり、一部の雨がかり部分を除いた表面仕上げは、木質材料を用いた計画とすること。
- 工事に先立ち近隣住民等への説明を丁寧に実施した上で着手すること。工事にあたっては、近隣住民等への影響が最小限になるよう騒音・振動・安全等の対策を実施すること。また、完成後の運用についても、周辺住民に十分配慮すること。
- 雨水流出抑制、河川区域及び道路区域の整備にあたっては、県・市の関係部署と十分な協議を行ったうえで実施すること。
- 条例及び規則等を遵守した上で、運営を検討すること。新たな料金、利用区分、利用形態の設定にあたっては、条例及び規則等との整合が必須となるため、事業実施に際し、市と真摯に協議し、よりよい施設運営とすること。
- 宿泊研修室のリノベーションや公園遊具の設置等については、現状にとらわれることなく、パークマネジメント活動を通して、市民の要望事項を十分に把握した上で、柔軟に取り組むこと。
- 整備施設について、事業終了後も見据えたライフサイクルコストの削減に向けて、さらなる検討を行うとともに、計画的な維持管理及び保全改修により、休場による施設利用者への不便がないように努めること。